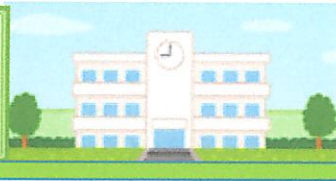


学校だより



令和5年1月19日(木)

住所:横浜市瀬谷区二ツ橋町470

電話:(045)391-2131

— 第3号 —

生徒たちの姿から

～すべてのこと、すべてのものは人とのつながりがある～

副校長 菅井 昭宏

「お芋があったよ!」「掘れた!」と歓声を上げる小学生を温かいまなざしで見守り、「これからお芋の掘り方を説明します」「私と一緒にいきましょう」「そうそう、掘り方上手だね」「掘ったお芋は持って帰ってね」と優しく声をかける3年生の姿。自分たちで育てたサツマイモを隣の二つ橋小学校の児童たちを招いて芋ほりをした環境園芸の授業。

そして、人間福祉の「校内カフェ」のデモンストレーションの授業場面。まだ来ないお客をイメージしながら生徒同士で気付きを出し合ったり、「お客さんの顔が見えなくても(キッチンにいる人も)“いらっしゃいませ”“ありがとうございます”の挨拶をしよう」という意見があがったり。

自分がお芋を持って帰れるわけではないのに、自分がカフェでゆっくりお茶を飲めるわけではないのに、なぜ、生徒たちはこれほどまでに力を尽くすことができるのだろうか、普段の授業と目の輝きや意欲が違うのはなぜだろうかという疑問が湧きました。それは、誰かのために力を尽くすことがその誰かの喜びや幸せになり、誰かの喜びは自分の喜びや幸せにつながるという実感を重ねてきたからこそなのかもしれないと。

これから私たちはこれまで以上に問題意識や必要感があり、相手のために取り組む課題を意図的に設け、生徒たちが主体的に生き生きと学べるようにしていきたいと考えています。

一方で、多くの仕事は相手が分かりやすく見える、相手のためがすぐに分かることばかりではありません。今度、宮崎駿監督が新たに「君たちはどう生きるか」を映画化するというニュースを聞いて、昔読んだ覚えのあった同書を冬休みに読み返していました。主人公のコペル君は「人間分子は、みんな、見たことも会ったこともない大勢の人と、知らないうちに網のようにつながっている」という発見をします。コペル君はどのような製品、どのような物も様々な生産工程や営みがあり、多くの人たちが関わっているということに気付くのです。これは、当たり前のことのようですが、少年が改めて気付くことの尊さを感じ、「働く」こと「生きる」ことの本質的な意味を表しているように私は思いました。

どのような仕事や営みも誰かの喜びや幸せに必ず繋がっているということ。「使う人とは会えないけれども商品の仕分けを間違えないようにする」「使ってくれる人は分からないけれども、使う人が気持ちよく過ごせるように丁寧に清掃をする」目の前に誰かがいなくても、そこに人がいるように思える、人と人とのつながりを感じ、それが自らの幸せにつながる。そのような思いをもった学び、取り組むことの意義や目的を共に考える教育を展開していきたいと強く思いました。

私たち職員は生徒たちの「見えている」ところ(表しやすい知識や技能)だけではなく、生徒たちの考えや見えない心の育ち(思考力・判断力・表現力、学びに向かう力、人間性等)を見つめる、認めることができる感性を磨き、生徒たち自らが「学ぶ」こと、「働く」ことの喜びや幸せを実感できるように力を尽くしていきます。

今年度も残りわずかですが、ご協力をどうぞ、よろしく申し上げます。

二つ橋スクールライフ

●一年生

後期に入ってすぐに初めての現場実習が始まりました。紹介面接の後、緊張した面接。そして自分の目標を考え準備もしていきました。実習を行うにあたり、やるべきことを自分で計画的に行っていくことや期限を守ることの大切さなど改めて知ることができたのではないのでしょうか。また、実習を通して、相手に聞こえる声の大きさをで行う挨拶や返事の他、毎回の職業で行っている報告・連絡・相談することの必要性についても学べたことと思います。そして何よりも、実際に働く人の姿を身近で見ることができ、働くことの心構えや大変さを知ることができたのではないのでしょうか。今後は、自分の課題を見つけ、自分の弱点や課題を改善に向けて努力していかれるとよいです。その努力が自分自身の成長につながり、その姿が周囲の人に伝わるものです。実習が終わった今、自分なりに目標をたて、1年生としての毎日の学校生活や学習を大切にしていってください。

保護者の皆様におかれましても、2月に第3回職場見学会を控えております。これまで同様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●二年生

いよいよ最終学年になる年を迎えました。また今年、皆さんは成人を迎えます。本当に大きな節目の年を迎えることとなります。さて、これまでの二つ橋での生活はどうだったでしょうか。楽しいことやうれしいことがたくさんありました。コロナ禍の影響を受けながらも、様々な工夫や努力をしてここまで来ました。うまくいかなかったり、失敗したりしたことからも大きな学びの機会を得てきました。嫌なことや苦手なこと、許すことができないことなど今もあるかもしれません。でも、ここで一度気持ちを切り替えて、そのすべてを力に変えて、最後の一年を実り多い豊かなものにしましょう。進路決定に向けた動きも本格化します。新しい景色を見る日はすぐそこまで来ています。私たち教員も、皆さんのために全力で取り組みます。

●三年生

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発出に伴う「臨時休校」から始まった3年生の二つ橋での生活も残すところ36日(1月10日現在の稼業日)になりました。授業や行事等において制限や延期・中止の措置がとられる中でありながらも、3年生の皆さんは「今自分にできること」「今自分がやるべきこと」に目を向けて真摯な態度で取り組んできました。その中で、時には大いに楽しみ、時には大きな挫折を味わうような多くのかけがえのない経験を積み重ねてきたことと思います。

4月から始まるそれぞれの新しい生活に向けて、卒業式までの日々の中でさらに自身の課題に向き合い、仲間との思い出を作り、新生活の糧や支えとなるような経験や関係作りをしてほしいです。

3学年の教員も、卒業式を、また4月からの新生活を心も体も健康に迎えられるように努めてまいります。保護者の皆様におかれましても、これまで同様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●保健室

いつもより長い冬休みが明けました。この年末年始は天気も良く、外に出かけたり、旅行に行ったりした人もいるかもしれません。充実した冬休みが過ごせたでしょうか。学校が始まり早寝早起きなどの生活リズムが整わずに疲れが出てしまい、体調を崩して保健室に来室する人が多くなっています。睡眠時間を確保することで免疫力が高まり感染症予防にもつながります。年度末に向けて元気に過ごせるよう体調を管理しましょう。

普段の学校生活の様子は、本校ホームページにて写真付きで発信しています！
ぜひこちらもご覧ください。